

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0101	実施計画
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	家庭教育力の充実	担当	教育委員会事務局 生涯学習課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

**対象(誰、何に対して事業を行うのか)**  
 ・子どもと保護者  
 ・地域住民

**意図(対象をどのような状態にしたいのか)**  
 家庭教育、地域教育への理解が深まり、  
 家庭・地域での教育力が向上している。

**手段(事務事業の内容、やり方、手順)**  
 講座・教室等を通じて、家庭教育・地域教育への理解を深め、人づくり・つながりづくり・地域づくりを進める。  
 【家庭教育学級】対象：小中学生の保護者、家庭教育に関心のある者  
 ・小学校9校区で学級を編成し、家庭教育と仲間づくりの教室を、年7回程度教室生の自主運営で開催する。  
 【思春期家庭教育学級】対象：思春期の子の保護者、家庭教育に関心のある者  
 ・思春期の特徴や心や体の変化を学ぶ講座を2期(各4回)に分けて開催する。  
 【親子ふれあい教室】対象：小中学生とその保護者  
 ・親子で体験・学習を行い、ふれあいを深める教室を開催する。  
 【少女少女発明クラブ】  
 ・小学生(4~6年生)が、ものづくりを通じて創意とくふうを学ぶ。(R2発足)  
 【地域の教育力補助金】  
 ・体験活動や健全育成などの地域ぐるみで子ども達を健やかに育む活動を行う団体に対して補助金を交付する。(補助率1/2・上限4万円)  
 【民謡講習会】  
 ・地域の盆踊りを盛り上げる盆踊り講習会を行う。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 家庭・地域教育関係講座等の延開催数(家庭教育学級、思春期、親子ふれあい、地域の教育力、民謡)	回	85	84	80	40	
	B 地域の教育力補助金申請団体数	団体	4	7	5	4	
成果指標	C 家庭・地域教育関係講座等の延参加者数	人	2,138	2,144	2,300	1,600	
	D						
事業費 計			1,160	1,222	1,322	712	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		48	73	15	2
		オ 一般		1,112	1,149	1,307	710

R02年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 一部遅延あり <b>【成果指標の状況】</b> 低下 <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	(状況) 講座の延開催数は昨年度実績に比べ半減し、延参加者数も大幅減となっている。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための講座中止、参加自粛などが影響している。一方で、少女少女発明クラブが発足し、今後多くの参加者が見込まれる。
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 子ども会活動支援事業

[296]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0201	実施計画
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	地域教育力の充実	担当	こども子育て部 こども課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>こども(児童) 市子連加入の子ども会関係団体(子ども会連絡協議会、校区子ども会連合会、地域子ども会) ジュニアリーダーズクラブ</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>子ども達が、同世代、異年齢との交流をおこない、さまざまな事を学んでいる。 子ども会に多くの方が加入し、地域交流の基盤となっている。 小学生へ遊びを指導できるジュニアリーダーが養成されている。</p>	<p>子ども会活動事業費補助金交付要綱に基づき、5月中に各団体より、補助金交付申請の提出があり、内容等を審査し、子ども会連絡協議会・校区子ども会連合会・地域子ども会・ジュニアリーダーズクラブに対して、補助金交付決定通知書により交付決定を行い、補助金を支給する。</p> <p>(補助金の交付額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会連絡協議会 880,000円</li> <li>校区子ども会連合会 基準額30,000円に5単位を超える地域子ども会1単位につき2,000円を加算した額</li> <li>地域子ども会 基準額18,000円に30名を超える小学生の会員1名につき200円を加算した額</li> <li>ジュニアリーダーズクラブ 135,000円</li> </ul> <p>(委託金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニアリーダーズクラブのメンバーが、子ども会の役員及び会員等を対象に指導者育成の研修会を行う。230,000円</li> </ul> <p>令和2年度をもって市子ども会連絡協議会は活動を休止。令和3年度からは形を変えて活動支援を継続する。</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 委託金額(ジュニアリーダーズクラブ)	円	230,000	230,000	240,000	29,095	
	B 登録子ども会数	円	1,325,000	1,043,201	1,260,000	185,393	
	成果指標	C ジュニアリーダーズクラブ会員数	人	24	24	20	24
		D 子ども会加入率	%	14.9	15	15	11.1
事業費 計			1,655	1,273	1,693	215	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	1,655	1,273	1,693	215

## R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	<p>(状況) 活動指標ABは大幅に減少している。成果指標Cは前年度から3.9ポイント減少している。</p> <p>(原因) 活動指標は新型コロナウイルス感染症の影響から各団体が活動を見合わせた影響によるもの。</p> <p>成果指標Dは市子連加入子ども会の減少によるもの。令和2年度をもって市子連が活動を休止することから、次年度以降は、地域の子ども会活動を支援するよう事業の形を見直していく。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	市子連の組織見直しについて引き続き検討し、方向性を定めます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0301	実施計画	対象
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	学校・家庭・地域の連携	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	学校、地域住民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	地域学校連携推進事業の実施 学校と地域がともに支えあい成長できるように、学校と地域住民の連携を推進する。 各小学校区地域連携教育推進委員会へ事業を委託 受託者は、地域の特色を生かし、また学校が地域の中で生かされるような創意工夫のある活動を行う。 H26、27 瑞鳳小学校区 H28 上記に加え本地原小学校区、旭丘小学校区の3校区で実施 H29 上記に加え東栄小学校区、渋川小学校区、城山小学校区の6校区で実施 H30 上記に加え旭小学校区、白鳳小学校区、三郷小学校区の全小学校区で実施 R1 全小学校区で実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		学校評議員選任 校長が推薦する人物を学校評議員として委嘱し、学校運営や教育活動への助言、学校と家庭や地域社会との連携の在り方への助言及びその他必要な業務を行ってほしい、謝礼を支払う。	
	地域全体から支援や協力を得て、開かれた学校づくりが促進されている。	スクールガード支援 校区ごとに地域の方をスクールガードとして登録し、児童の登下校時の安全を見守っていただく。 登録されたスクールガードの方に帽子等の資材を配布し、活動を支援する。  学校支援者傷害保険 総合的な学習の時間推進事業による講師や部活動の外部指導者等が安心して授業や指導を実施するために、傷害保険に加入する。 補償対象：1日最高6名 補償内容：死亡後遺傷害 年間663万円、入院日額3,500円、通院日額2,000円、賠償責任 年間1,000万円		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 地域学校支援推進事業実施校区数	校	9	9	9	9	
	B						
成果指標	C 授業等の支援に参加した市民の数	人	2,006	2,088	2,000	559	
	D 地域活動に参加した児童生徒、教職員の数	人	1,878	-	1,900	1,648	
事業費 計			2,527	2,853	2,984	2,097	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	2,527	2,853	2,984	2,097

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	状況 R元年度実績と比べ、授業等の支援に参加した市民の数が1,529人減少している。 (原因) 新型コロナウイルス感染防止のため、支援機会が減少したことによる。
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	学校運営協議会の設置について研究します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
学校運営協議会の設置について研究した。			

# 地域学校協働活動推進事業

[1307]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0303	実施計画	
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	学校・家庭・地域の連携	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	各校区で育つ児童生徒	<p>&lt;地域未来塾&gt; 学習支援事業(地域未来塾)の実施により、小・中・高校生等の学習意欲の充実及び向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高校生を対象</li> <li>・委託により教員OBや教員を目指す大学生などによる学習支援を行う。</li> <li>・希望者制、自主学習スタイル</li> <li>・県費補助事業</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>H30年度から開始し、R元年度途中で委託事業者の都合により事業中止 R2年度は新たな事業者を公募し実施する。 そのほか放課後子供教室、土曜日の教育支援活動のメニューもあるが本市は未実施。</p>
	地域未来塾に来る中学生が増えている。 放課後子供教室に来る小学生が増えている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 委託料	千円	1,512	309	3,000	1,836	
	B						
成果指標	C 地域未来塾平均参加者数	人	6	8	10	31	
	D						
事業費 計			1,533	309	3,000	1,836	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	1,004	205	2,000	1,216
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		529	104	1,000	620

## R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募で新たな事業者を選定し、令和2年7月から地域未来塾が実施された。</li> <li>・登録者数、参加者数も増加し、順調に実施できている。</li> </ul> <p>(原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな事業者が体制を整えた上で、受講希望者の受け入れを行ったため。</li> <li>・定員(50名)を設けて受け入れを行っているため、開催日程を増やす又は、別の事業者が事業を開始するなどの要因がなければ、成果向上の余地は小さい。</li> </ul>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 幼稚園就園支援事業

[281]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0401	実施計画	
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	就園・就学の支援	担当	こども子育て部 保育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に在住し私立幼稚園に通う園児(満3歳児から5歳児まで)の保護者</li> <li>市内私立幼稚園</li> </ul>	<p>【私立幼稚園就園奨励費補助】 令和元年9月まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私立幼稚園の設置者が、市内在住の私立幼稚園就園児の保護者に対し、授業料の減免をした場合に、設置者に対し、減免をした額又は定められた補助限度額の範囲内で、補助を行う。</li> <li>設置者は、該当園児ごとに調書を取りまとめ申請する。</li> </ul>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私立幼稚園に就園させている保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園に就園しやすくする。</li> <li>教育振興事業費補助により、次世代を担う子どもたちの健全育成が図られている。</li> </ul>	<p>【私立幼稚園教育振興事業費補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内私立幼稚園に幼児教育の振興を図り、次世代を担う子どもたちの健全育成に資することを目的に「教育活動の充実事業」「教育環境の充実事業」「子育て支援事業」に要する経費を補助する。</li> </ul> <p>【子育てのための施設等利用給付費負担金】 令和元年10月以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援法等の関係法令に基づき、新制度未移行幼稚園等を利用して無償化上限額までの給付を行う。</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 就園奨励費補助をおこなった園児数	人	1,001	978	0	535
	B 教育振興事業費を補助をした市内私立幼稚園数	園	4	4	4	4
成果指標	C					
	D					
事業費 計			133,462	64,923	1,250	1,135
財源内訳		ア 国	43,742	20,972		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	89,720	43,951	1,250	1,135

## R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	<p>令和元年9月分まで、就園奨励費による支援は終了。以後、施設等利用給付により無償化が実施されている。小学前児童の人口が減少傾向にあり、数値が向上する可能性は低い。</p>
--------	--	---

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	幼児教育・保育の無償化に伴い必要となる対応を適切に実施します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
市内の幼稚園に対して施設等利用給付(無償化分)とは別に事業補助を行った。			

# 小学校児童就学援助事業

## 事業の位置づけ

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0402	実施計画	
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	就園・就学の支援	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	経済的に就学困難な児童の保護者又は特別支援学級在学児童の保護者	<p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由により就学困難な児童の保護者 (生活保護を受けているかた、生活保護が停止又は廃止されたかた、市町村民税が非課税又は減免されたかた、個人事業税又は固定資産税が減免されたかた、国民年金の保険料が免除又は国民健康保険税が減免若しくは徴収猶予されたかた、児童扶養手当が支給されたかた、生活福祉資金貸付を受けたかた、日雇労働被保険者手帳をもっている又は職業安定所登録日雇労働者であるかた、その他、経済的に困窮していると教育委員会が認めたかた)</li> </ul> <p>特別支援学級在学児童の保護者</p> <p>補助の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、医療費</li> </ul> <p>支給時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学学用品費(入学後) 5月末日</li> <li>・新入学学用品費以外 7、12、3月の中旬</li> <li>・新入学学用品費(入学前) 2月中旬</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

経済的に就学困難な児童の保護者又は特別支援学級在籍児童の保護者の経済的負担が軽減されている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 就学援助認定件数(小学校)	件	472	451	443	446
	B 特別支援就学奨励認定件数(小学校)	件	31	40	29	35
成果指標	C					
	D					
事業費 計			35,601	33,334	34,973	33,544
財源内訳		ア 国	434	533	401	613
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	35,167	32,801	34,572

## R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 中学校生徒就学援助事業

## 事業の位置づけ

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0403	実施計画	
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	就園・就学の支援	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	経済的に就学困難な生徒の保護者又は特別支援学級在学生徒の保護者	<p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由により就学困難な生徒の保護者 (生活保護を受けているかた、生活保護が停止又は廃止されたかた、市町村民税が非課税又は減免されたかた、個人事業税又は固定資産税が減免されたかた、国民年金の保険料が免除又は国民健康保険税が減免若しくは徴収猶予されたかた、児童扶養手当が支給されたかた、生活福祉資金貸付を受けたかた、日雇労働被保険者手帳をもっている又は職業安定所登録日雇労働者であるかた、その他、経済的に困窮していると教育委員会が認めたかた。)</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>・特別支援学級在学生徒の保護者</p> <p>補助の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、医療費</li> </ul> <p>支給時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学学用品費(入学後) 5月末日</li> <li>・新入学用品費以外 7、12、3月の中旬</li> <li>・新入学学用品費(入学前) 2月中旬</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 就学援助認定件数(中学校)	件	304	304	268	336
	B 特別支援就学奨励認定件数(中学校)	件	13	16	12	13
成果指標	C					
	D					
事業費 計			32,175	32,560	32,106	34,363
財源内訳		ア 国	388	259	258	362
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	31,787	32,301	31,848

## R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 私立学校修学支援事業

[1263]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0404	実施計画
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	04	就園・就学の支援	担当	教育委員会事務局 教育政策課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	私立学校に在籍する児童生徒の保護者	<p>保護者等に対して助成を行うことにより、教育に係る経済的負担の軽減を図り、もって教育の機会均等の原則を確保し、併せて私立学校教育の振興に寄与する。</p> <p>対象 次の全ての要件に該当する児童生徒の保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月1日において、私立学校に在籍する方</li> <li>・10月1日において、その保護者が尾張旭市に住所を有する方</li> <li>・所得基準の「甲」、「甲」、「乙」又は「乙」区分に該当する方</li> </ul> <p>対象となる私立学校は、私立の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び専修学校(修業年限が3年の高等課程に限る。)</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>教育に係る経済的負担の軽減を図る。</p> <p>補助額(年額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲」18,000円</li> <li>・「甲」15,000円</li> <li>・「乙」及び「乙」12,000円</li> <li>・「多子加算」5,000円</li> </ul> <p>手続き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月 申請書配布</li> <li>・10月 受付期間</li> <li>・12月 交付決定、支給</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 補助金額	千円	7,971	7,694	8,200	7,737
	B			0		
成果指標	C			0		
	D			0		
事業費 計			7,971	7,694	8,000	7,737
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		7,971	7,694	8,000

## R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	---

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 社会教育委員設置事業

[335]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	23-0901	実施計画	
施策	03	総合的な教育連携の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 生涯学習課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	社会教育委員	設置根拠 社会教育法 第4章 社会教育委員(第15~19条) 職務 諸計画の立案/教育委員会の諮問に応じ意見を述べる/諮問に応えるため必要な研究調査を行う/青少年教育関係団体・指導者に助言と指導を行う 任期 令和元年6月1日~令和3年5月31日 社会教育委員会 ・尾張旭市社会教育委員会 年2回程度 研修会等 ・愛知県社会教育委員連絡協議会総会、講演会 ・愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部総会、講演会 ・愛知・地域づくり推進大会 ・愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部研修会 ・東海北陸社会教育研究大会 各種委員会 ・家庭教育推進運営協議会 年3回程度
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

社会教育委員会が、本市の社会教育に関する計画立案、活動に対し積極的に助言を行っている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 社会教育委員会の開催数	回	2	2	2	2	
	B 社会教育委員会の活動回数(委員会、研修会、総会、県家推協、催事)	回	11	10	15	2	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			410	374	421	120	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	410	374	421	120

## R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

## R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-